

【FdData 中間期末：中学歴史：江戸時代②】

【農村の変化・百姓一揆と打ちこわし】

【問題】(3 学期)

次の文は、18 世紀ころの農村の変化を説明したものである。()に最も適する語句を、下の語群からそれぞれ選べ。

(①)経済の広がり、農村では、自給自足に近かった経済がくずれ始めた。農民は農具や肥料を購入し、加工業の原料になるものを栽培し始めた。こうして、手工業は各地の農村に広がっていった。最初は、商人が道具や材料を農家に貸し出して製品にする(②)であったが、のちにたくさんの労働者が分業によって製品をつくる(③)に変わっていった。

(④)経済に巻き込まれた農村では、(④)の差が大きくなり、貧しい農民の土地を手に入れて(⑤)となる者と、土地を失って(⑥)になる者があらわれた。このような中でも村の団結は強くなり、年貢の軽減や不正な代官の交代などを要求する(⑦)が起こるようになった。

(語群)[問屋制家内工業 工場制手工業

百姓一揆 小作人 貨幣 貧富 地主]

- [解答]① 貨幣 ② 問屋制家内工業
③ 工場制手工業 ④ 貧富 ⑤ 地主 ⑥ 小作人
⑦ 百姓一揆

[解説]

18世紀, 商品作物の栽培(綿, 菜種, あい, 紅花)
自給自足経済→貨幣経済が農村へ浸透
→貧富の差が拡大(地主と小作人)
問屋制家内工業→工場制手工業

18世紀になると、木綿^{もめん}の原料となる綿, 油の原料となる菜種^{なたね}, 染料^{せんりょう}となるあい^{べにばな}や紅花などの商品作物の栽培がさかんになった。これらの商品作物の栽培には干鰯^{ほしか}などの肥料^{ひりょう}を購入することが必要であったので、それまでの自給自足経済^{じきゅうじそくけいざい}がくずれ貨幣経済^{かへい}が農村にも浸透^{しんとう}した。成功して他の農民の土地を手に入れて地主^{ぢぬし}となる者がいるいっぽうで、土地^{こさくにん}を手放して小作人となる農民も多くなり、貧富の差が大きくなった。また、このころ、手工業が各地の農村に広がっていった。最初は、商人が織機や材料を農家に貸し出し製品にする問屋制家内工業^{とんやせいかないこうぎょう}であったが、のちにたくさんの労働者が分業によって製品をつくる工場制^{こうじょうせい}手工業^{しゅこうぎょう}に変わっていった。

【問題】(2 学期期末)

次の各問いに答えよ。

- (1) 加工業の発達で各地に普及した商品作物のうちで、染料の原料となるものを2つ答えよ。
- (2) 貨幣経済の広がりによっておこった農村の変化を「小作人」「貧富の差」の2語を使って説明せよ。

【解答】(1) 紅花, あい (2) 貧富の差が大きくなり、土地を手放して小作人になる者が増えた。

【問題】(2 学期期末)

次の各問いに答えよ。

- (1) 材料や道具を農民に貸し、製品を買い取ることを、何工業というか。
- (2) 工場に働き手を集め、製品を分業して仕上げる生産方法を何というか。

【解答】(1) 問屋制家内工業 (2) 工場制手工業

[問題](3 学期)

江戸時代の農業や農村としてあてはまらないものを，次のア～エから1つ選び，記号を書け。

- ア 新田が開発され，耕地面積が増加した。
- イ 綿・菜種などの商品作物が栽培された。
- ウ 備中ぐわで，より深く耕せるようになった。
- エ 貨幣経済が広がり，貧富の差が小さくなった。

[解答]エ

[解説]

エが誤り。貨幣経済が広がることで自給自足経済がくずれ，貧富の差が大きくなった。

[問題](前期期末)

次の文を読んで、各問いに答えなさい。

幕府や諸藩のきびしい(①)の取り立てや商品作物の安い買い上げなどで生活が苦しくなった百姓のなかには、地主や商人からの借金が返せずに土地を手ばなして(②)人となるものも少なくなかった。また、江戸や大阪に出かせぎに出る者も増えた。そのため農村では、荒れた田畑がめだつようになり、日照り、長雨、虫の害なども重なって、(③)が続いて発生するようになった。生活が苦しくなると、A くわや竹やりで武装して、自分たちの要求を通そうとする動きが活発になり、江戸や大阪でも、B 都市の貧しい人々が米の売りおしめをする商人などをおそうことが多くなった。

- (1) ①～③にあてはまる語句を答えなさい。
(2) A, B のできごとをそれぞれ何といいますか。

[解答](1)① 年貢 ② 小作 ③ ききん
(2)A 百姓一揆 B 打ちこわし

[解説]

貧しい小作人の増加

→ききん が起こりやすくなる

(天明のききん、天保のききん)



農村では、年貢の軽減を求めて **百姓一揆**

都市では、**打ちこわし** (傘連判状)

貧しい小作人が増えると、日照り・長雨・いなごの害などによって不作になると、大勢の人が飢え死にするききんがおこりやすくなった。

とくに、1783年の^{あさまやま}浅間山の^{ふんか}噴火によって火山灰が降りつもり、関東から東北地方にかけて深刻なききんに見舞われた(

^{てんめい}天明のききん)。こう

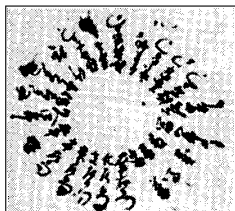
したなかで、農村では^{ねんぐ}年貢の軽減や不正な^{だいかん}代官の交代などを要求する百姓一揆がおこった。

右図は、一揆の

参加者が円形に署名した^{からかされんぱんじょう}傘連判状である。円形に署名しているのは、誰が指導者であるかがわからないようにするためである。

江戸や大阪などの都市では、貧しい人々が、米の値段をつり上げる大商人をおそう打ちこわしを行った。

(傘連判状)



[問題](2 学期中間)

次の各問いに答えよ。

- (1) 18 世紀になると、団結した農民が、領主に年貢の軽減や不正な代官の交代などを要求するようになった。これを何というか。
- (2) 都市の貧しい人々が団結して、米の買い占めをした商人に対しておこした暴動を何というか。
- (3) 前問(1)や(2)は、どのようなできごとのころに最も多くおこっているか。

[解答](1) 百姓一揆 (2) 打ちこわし (3) ききん

[問題](1 学期中間)

百姓一揆の目的を簡単に書きなさい。

[解答]年貢の軽減や不正な代官の交代などを要求するため。

[問題](1 学期中間)

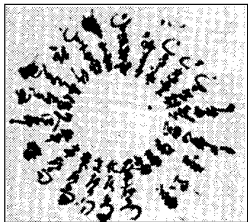
百姓一揆の原因と幕府の対策について述べた次のア～エから、適するものを1つ選べ。

- ア ききんが起ると百姓一揆がふえ、幕府は政治の改革を行った。
- イ 幕府の改革に反発して百姓一揆がふえ、幕府はききんを見過ごした。
- ウ 北方探検の費用負担から百姓一揆がふえ、幕府は政治の改革を行った。
- エ ききんが起ると百姓一揆がふえ、幕府は北方探検で百姓の目をそらせた。

[解答]ア

[問題](2 学期中間)

右の資料は、百姓一揆のとき、参加した人が署名したものです。これを何とよびますか。



[解答]傘連判状

[問題](前期期末)

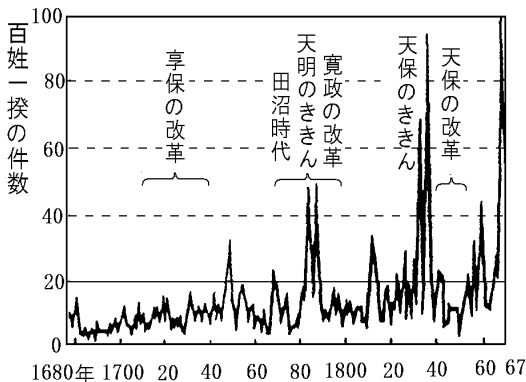
右の資料は、百姓一揆の参加者が訴え状などに署名した「傘連判状」です。円形に署名した理由を説明しなさい。



[解答]誰が指導者であるかがわからないようにするため。

[問題](2 学期期末)

下の各問いに答えよ。



- (1) 上のグラフをみて、次の文の()にあてはまる語句を答えよ。

百姓一揆の件数が、最初に年間 30 件をこえたのは、(①)の改革のあとである。また、(②)のききんのときには、年間 40 件をこえ、(③)のききんのときは 60 件以上に達した。百姓一揆は、村々の農民がこぞって城下などにおしかけ、集団の力を示しながら、(④)の軽減や不正な代官の交代などを要求するようになった。

- (2) 江戸や大阪などの都市では、貧しい人々が、米の値段をつり上げる大商人をおそった。こうした行動を何というか。

[解答](1)① 享保 ② 天明 ③ 天保 ④ 年貢
(2) 打ちこわし

◆社会歴史の各ファイルへのリンク

<http://www.fdttext.com/dp/sr3/index.html>

◆FdData 中間期末の特徴(QandA 方式)

http://www.fdttext.com/dp/qanda_k.html

◆製品版(パソコン Word 文書：印刷・編集用)
の価格・購入方法

<http://www.fdttext.com/dp/seihin.html>

※ iPhone でリンク先が開かない場合は、
「iBooks」を開いてリンクをタップください。

【Fd 教材開発】 Mail : info2@fdtext.com